平成23事業年度 業務実績評価シート①集計表

目	目	小項目					法人 自己評価		出した委員数	評価委員の判断理由 評価↑(評価した理由 等) 評価↓(評価しなかった理由、説明不足 等)
第2	大	学の教	育研究	究等の質	の向.	上に	関する目標	を達成するため	の措置	
	1 孝	教育に	関する	目標を調	達成す	るた	めの措置			
		(1)教育	育の成	果に関す	する目	標を	達成するた	めの措置		
			ア学	部教育						
		P1		(7)—1			Ш			
لر				(7)-2	а		Ш			
第	1回道	資料3-	4の		b		IV			
該	当ペ-	ーシ 		(7)-3	-		_			
				(1)-1			Ш			
		P2		(1)-2	а		IV	ш	1	〇評価はそのままですが、合格率改善の努力を高く評価する。 〇3年ぶりに目標値に達したものであり、「年度計画を上回って実施して いる」とは言えない。
					b		IV			
				(ウ)ー1	-1		-			
				(ウ)ー2	1		_			
				(ウ)ー3	а		_			
					b		Ш	IV	1	学外実習の増加を評価する。
		Р3		(I)—1			Ш	IV	1	地域病院での研修増加を評価する。
				(I)-2	а		Ш			
					b		Ш	IV	1	派遣学生数の大幅な増加を評価する。
			イ大	学院教育	育					
				(7)-1			Ш			
				(7)-2	_		_			
				(7)-3	-		_			
		P4		(1)-1			Ш			
				(1)-2			Ш			
				(1) 2			Ш			
				(1)-4			I			
			占 i	取科教	存		н			
			, ,	(7)			П	ш	1	○評価はそのままであるが、合格率改善に向けてのの努力が望まれる。 ○合格率の上昇についてはさらなる改善を目指してほしいが、100%にはいかなくても90%で抑えており、まずまずの達成と判断する。
				(1)	-		_			
				(ウ)			Ш			
		(2)教育	育内容	等に関す	する目	標を	達成するた	めの措置		
			ア学語	部教育						
				(ア)入学	者受力	入れる	及び入学者	選抜を実現する	ための具体的	方策
		P5			a-1		Ш			
					a-2		Ш			
					b	-	_			
				(イ)教育	理念等	手に応	じた教育記	果程を編成する	ための具体的力	D 5策
					a-1	(a)	Ш			
						(b)	Ш			
		P6			a-2		ш			
						(b)	Ш			
					a-3	-	_			
					a-4		Ш			
					b-1		ш	IV	1	学外実習の増加を評価する。
		P7			b-1		ш	IV	1	地域病院での研修増加を評価する。
		′		(山)数李		- 胆 -	「る具体的		<u>'</u>	수단 에 마이어 도 에 마이어 에 마이어
	l	1		八八八八日	/J /Al-	- IXI 7	る子を引	/J /K		

l I	1				İ	İ	
		a-1		Ш			
		a-2		Ш			
		b-1	(a)	Ш			
			(b)	Ш	IV	1	院外実習の実施を評価する。
P8		b-2	_	_			
		b-3	-	_			
		b-4	_	_			
			_				
		c-1		Ш			
		c-2	(a)	Ш			
			(b)	IV			
	(工)成約	責評価:	等の	実施に関す	る具体的方策		
P9		а	-	_			
		b		Ш			
		С	_	_			
	(+) 本 经		ا ا	ははし思す	 る具体的方策		
	(1) 平1多	1			の共体的力束		T .
		а	(a)	Ш			
			(b)	Ш			
P10		b	(a)	Ш			
			(b)	Ш	п	1	実習連絡会等はどこでも行っている。連携ばかりでなく、お互いの見出し、その課題を達成するような方法を見出すべき。システムの
			(5)		_	·	まで至っていないのではないか。
イ	大学院教						
	(ア)入学	者受け	ナ入オ	ι及び入学	者選抜を実現す	けるための具体	的方策
		а	-	_			
P11		b		Ш			
		С		Ш			
	(イ)教育	理念等	车には	にた教育	 課程を編成する	 ための具体的7	1 方策
	(1/32)	a-1	(a)	II	ア 住 と 小川 バ ノ し	7207075611117	
		a 1	(a)	ш.			リーダーとなる者を育成するためには専門知識・技術だけでなく、
			(b)	ш	п	1	ダー教育を行うことが望ましい。また、リーダー教育をする際には 立場を目指す人を対象にするのか(師長か地域が研究者か)を明 てほしい。
		a-2	(a)	Ш			
			(b)	Ш			
P12		b-1		Ш			
-		b-2	-				
				Ш			
	(±\+n==	C	- BP:		+ #=		
	り教育	Т		する具体的	刀束 		
		a-1	(a)	Ш			
			(b)	Ш			
		a-2		Ш			
P13		b	-	_			
	(エ)成績	評価等	等の多	実施に関す	る具体的方策		
		а	-	_			
		b		Ш			
-	 専攻科教			_			
	1			ш			
	(7)						
	(1)-1			Ш			
	(1)-2		-	_			
	(1)-3		-	_			
	(1)-4			Ш			
P14	(1)-5		-	_			
	(1)-6			Ш			
	(ウ)			_			
(3) 井本		川生!	胆士		成するための措	出	
						巨	
ア		城貝 <i>0.</i> □		■寺に関す	る具体的方策		
	(7)		-	_			

		(1)	а		Ш			
			b		Ш			
		(ウ)			Ш			
	イ素	教育に必要	要な設	備、	図書館、情	報ネットワーク	等の活用・整備	の具体的方策
P15		(7)		-	_			
		(1)			Ш			
		(ウ)		-	Ш			
		(I)		_	Ш			
	— #		のみき			の具体的方策		
	· / 4	1	の収置	51~ - 	ルよい のに ^は	700共体的万束		
		(7)		_	_			
		(イ) -1			Ш			
		(1)—2			Ш			
P16		(1)—3			Ш			
(4) 学	生へ	の支援に	関す	る目	票を達成す	るための措置		
	アき	学習相談.	、助言	、支持	援の組織的	対応に関する。	具体的方策	
		(7)		-	_			
		(1)			Ш			
		(ウ)		-	_			
	イち	生活相談,	就職	支援	等に関する	具体的方策		
		(7)		-	_			
		(1)			Ш			
P17		(ウ)			Ш			
PI/			LEG / L. #					
	ワギ	1	技14市	川〜民	関する具体的	り 力束		
		(7)			Ш			
		(1)			Ш			
					Ш	IV	1	派遣学生数の大幅な増加を評価する。
		(ウ)	а		ш	14	'	MAZ 1 Z MAY Y TIM O' HAM C IT IM Y O'
		(ウ)	a b		Ш			W.G. T. XXXXX (III O BANCELL IND.). O.
		(ウ)				IV		新たな交流協定を高く評価する。
研究に	関する		b c	るた	Ш			
		る目標を追	b c 達成す		Ⅲ Ⅲ めの措置		1	
	开究 水	る目標を選べ進及び研	b c 達成す T究の	成果	皿 型 めの措置 等に関する	IV	1 3ための措置	
	开究 水	る目標を選準及び研目指すべる	b c 達成す T究の	成果	皿 型 めの措置 等に関する	Ⅳ	1 3ための措置	
(1) 研	开究 水	る目標を選べ進及び研	b c 達成す fr究の き研究	成果	田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田	Ⅳ 目標を達成する X準に関する具	1 ための措置体的方策	新たな交流協定を高く評価する。
(1) 研 P18	开究 水	る目標を選準及び研目指すべる	b c 達成す T究の き研究 a b	成果	田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田	Ⅳ	1 3ための措置	
(1) 研	开究 水	る目標を選 準及び研 目指すべ。 (ア)-1	b c 達成す fr究の き研究	成果	田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田	Ⅳ 目標を達成する X準に関する具 Ⅳ	1 るための措置 体的方策	新たな交流協定を高く評価する。
(1) 研 P18	开究 水	る目標を送 準及び研 目指すべる (7)-1	b c 達成す T究の き研究 a b	成果	田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田	IV 目標を達成する 大準に関する具 IV	1 るための措置 体的方策 1	新たな交流協定を高く評価する。 がん診療連携の実施を評価する。 英文原著論文発表の推進に対する評価は、英文原著論文の発 その質で評価すべきである。
(1) 研 P18	开究 水	る目標を選 準及び研 目指すべ。 (ア)-1	b c 達成す T究の き研究 a b	成果	田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田	Ⅳ 目標を達成する X準に関する具 Ⅳ	1 るための措置 体的方策	新たな交流協定を高く評価する。 がん診療連携の実施を評価する。 英文原著論文発表の推進に対する評価は、英文原著論文の発
(1) 研 P18	开究 水	る目標を送 準及び研 目指すべる (7)-1	b c 達成す T究の き研究 a b	成果	田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田	IV 目標を達成する 大準に関する具 IV	1 るための措置 体的方策 1	新たな交流協定を高く評価する。 がん診療連携の実施を評価する。 英文原著論文発表の推進に対する評価は、英文原著論文の発 その質で評価すべきである。
(1) 研 P18	开究 水	る目標を送 準及び研 目指すべる (7)-1	b c 達成す T究のか き研究 b c	成果	田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田	IV 目標を達成する 大準に関する具 IV	1 るための措置 体的方策 1	新たな交流協定を高く評価する。 がん診療連携の実施を評価する。 英文原著論文発表の推進に対する評価は、英文原著論文の発 その質で評価すべきである。
(1) 研 P18	开究 水	る目標を送 準及び研 目指すべる (7)-1	b c 達成す 干究の き研究 a b	成果	田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田	IV 目標を達成する 大準に関する具 IV	1 るための措置 体的方策 1	新たな交流協定を高く評価する。 がん診療連携の実施を評価する。 英文原著論文発表の推進に対する評価は、英文原著論文の発 その質で評価すべきである。
(1) 研 P18 P19	开究 水	本 本 を 達 及 び の で で で で で で で で で で で で で	b c m in in in in in in in in in in in in in	成果	田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田	IV 目標を達成する 大準に関する具 IV	1 るための措置 体的方策 1	新たな交流協定を高く評価する。 がん診療連携の実施を評価する。 英文原著論文発表の推進に対する評価は、英文原著論文の発 その質で評価すべきである。
(1) 研 P18 P19	开究 水	本 本 を 達 及 び の で で で で で で で で で で で で で	b c R R R R R の の の の の の の の の の の の の	成果	世 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	IV 目標を達成する 大準に関する具 IV	1 るための措置 体的方策 1	新たな交流協定を高く評価する。 がん診療連携の実施を評価する。 英文原著論文発表の推進に対する評価は、英文原著論文の発 その質で評価すべきである。
(1) 研 P18 P19	ア 目	を を を を を を を で で で で で で で で で で で で で	b c c i i i i i i i i i i i i i i i i i	成果	世 明 がの措置 等に関する 前 心と研究が 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田	IV 目標を達成する X準に関する具 IV	1 るための措置 体的方策 1 1	新たな交流協定を高く評価する。 がん診療連携の実施を評価する。 英文原著論文発表の推進に対する評価は、英文原著論文の発 その質で評価すべきである。 治療件数の増加を評価する。
(1) 研 P18 P19	ア 目	を を を を を を を で で で で で で で で で で で で で	b c c i i i i i i i i i i i i i i i i i	成果	世 明 がの措置 等に関する 前 心と研究が 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田	IV 日標を達成する X準に関する具 IV IV	1 るための措置 体的方策 1 1	新たな交流協定を高く評価する。 がん診療連携の実施を評価する。 英文原著論文発表の推進に対する評価は、英文原著論文の発 その質で評価すべきである。 治療件数の増加を評価する。
(1) 	ア 目	る目標を設定を を達定 なび 研 目指すべき (ア)-1 (イ)-2 (イ)-3 (イ)-3	b c R R R R R R R R R R R R R R R R R R	成果	田 田 等に関する 「向と研究パ 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田	IV 日標を達成する X準に関する具 IV IV	1 るための措置 体的方策 1 1	新たな交流協定を高く評価する。 がん診療連携の実施を評価する。 英文原著論文発表の推進に対する評価は、英文原著論文の発 その質で評価すべきである。 治療件数の増加を評価する。
(1) 	ア 目	る目標を設定を を達定 なび 研 目指すべき (ア)-1 (イ)-2 (イ)-3 (イ)-3	b c 成す T究のの a b c a b	成果	II	IV 目標を達成する K準に関する具 IV IV IV 具体的方策	1 るための措置 体的方策 1 1	新たな交流協定を高く評価する。 がん診療連携の実施を評価する。 英文原著論文発表の推進に対する評価は、英文原著論文の発・その質で評価すべきである。 治療件数の増加を評価する。 基礎的研究を重視する姿勢を評価する。 〇出前授業の実施を評価する。
(1) 	ア 目	る目標を设 準及び研 (ア)-1 (ア)-2 (イ)-1 (イ)-2 (イ)-3 式果の社 (ア)	b c R R R R の の の 。 a b c a b	成果	世 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明	IV 目標を達成する	1 3ための措置 体的方策 1 1 1	新たな交流協定を高く評価する。 がん診療連携の実施を評価する。 英文原著論文発表の推進に対する評価は、英文原著論文の発表の質で評価すべきである。 治療件数の増加を評価する。 基礎的研究を重視する姿勢を評価する。 〇出前授業の実施を評価する。 〇出前授業件数の減少が問題である。テーマの再検討も必要で
(1) 	T 完水	る目標を達進及び研 目指すべ。 (ア)-1 (パ)-2 (イ)-3 或果の社: (イ)	b c を を を なす おいます。 ないまする。 ないます。 ないます。 ないます。 ないます。 ないます。 ないます。 ないます。 ないます。 ないまする。 ないます。 ないます。 ないます。 ないます。 ないます。 ないます。 ないます。 ないます。 ないまする。 ないます。 ないます。 ないます。 ないます。 ないます。 ないます。 ないます。 ないます。 ないまする。 ないます。 ないます。 ないます。 ないます。 ないます。 ないます。 ないます。 ないます。 ないまする。 ないます。 ないます。 ないます。 ないます。 ないます。 ないます。 ないます。 ないます。 ないまする。 ないます。 ないます。 ないます。 ないます。 ないます。 ないます。 ないます。 ないます。 ないまする。 ないます。 ないます。 ないます。 ないます。 ないます。 ないます。 ないます。 ないます。 ないまする。 ないます。 なっな。 なっ。 。 なっな。 なっな。 。 なっな。 。 なっな。 。 なっな。 。 なっな。 。 なっな。 。	成果の方の方の方である。	世 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明	IV ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1 3ための措置 体的方策 1 1 1 2	新たな交流協定を高く評価する。 がん診療連携の実施を評価する。 英文原著論文発表の推進に対する評価は、英文原著論文の発 その質で評価すべきである。 治療件数の増加を評価する。 基礎的研究を重視する姿勢を評価する。 〇出前授業の実施を評価する。
(1) 	ア 目 イ 月	る目標を設 準及び研 目指すべる (ア)-1 (イ)-2 (イ)-1 (イ)-3 成果の社は (ア)	b c を を を なののの。 a b c a b c a b	成果の方の方の方では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	IV 目標を達成する	1 3ための措置 体的方策 1 1 1 2	新たな交流協定を高く評価する。 がん診療連携の実施を評価する。 英文原著論文発表の推進に対する評価は、英文原著論文の発表の質で評価すべきである。 治療件数の増加を評価する。 基礎的研究を重視する姿勢を評価する。 〇出前授業の実施を評価する。 〇出前授業件数の減少が問題である。テーマの再検討も必要で
(1) 	ア 目 イ 月	る目標を設 準及び研 目指すべる (ア)-1 (イ)-2 (イ)-1 (イ)-3 成果の社は (ア)	b c を を を なののの。 a b c a b c a b	成果の方の方の方では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	世 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明	IV ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1 3ための措置 体的方策 1 1 1 2	新たな交流協定を高く評価する。 がん診療連携の実施を評価する。 英文原著論文発表の推進に対する評価は、英文原著論文の発表の質で評価すべきである。 治療件数の増加を評価する。 基礎的研究を重視する姿勢を評価する。 〇出前授業の実施を評価する。 〇出前授業件数の減少が問題である。テーマの再検討も必要で
(1) 	ア 目 イ 月	る目標を設 準及び研 目指すべる (ア)-1 (イ)-2 (イ)-1 (イ)-3 成果の社は (ア)	b c を を を なののの。 a b c a b c a b	成果の方の方の方では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	IV ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1 3ための措置 体的方策 1 1 1 2	新たな交流協定を高く評価する。 がん診療連携の実施を評価する。 英文原著論文発表の推進に対する評価は、英文原著論文の発表の質で評価すべきである。 治療件数の増加を評価する。 基礎的研究を重視する姿勢を評価する。 〇出前授業の実施を評価する。 〇出前授業件数の減少が問題である。テーマの再検討も必要で
(1) 	ア 目 イ 月	る目標を设 選 ま で で で で で で で で で で で で で	b c を を を なののの。 a b c a b c a b	成果の方の方の方では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	の措置 第1にと 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	IV ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1 3ための措置 体的方策 1 1 1 2	新たな交流協定を高く評価する。 がん診療連携の実施を評価する。 英文原著論文発表の推進に対する評価は、英文原著論文の発表の質で評価すべきである。 治療件数の増加を評価する。 基礎的研究を重視する姿勢を評価する。 〇出前授業の実施を評価する。 〇出前授業件数の減少が問題である。テーマの再検討も必要で
(1) 	ア 目 イ 月	る目標を達 準及び研 計すべる (ア)-1 (ア)-2 (イ)-1 (イ)-3 果の社: (ア) (イ) を体制等で (イ) で (イ)	b c を を を なののの。 a b c a b c a b	成果の方の方に関する。	の措置 第1にと 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	IV ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1 3ための措置 体的方策 1 1 1 2	新たな交流協定を高く評価する。 がん診療連携の実施を評価する。 英文原著論文発表の推進に対する評価は、英文原著論文の発表の質で評価すべきである。 治療件数の増加を評価する。 基礎的研究を重視する姿勢を評価する。 〇出前授業の実施を評価する。 〇出前授業件数の減少が問題である。テーマの再検討も必要で

		(ア)			Ш			
		(1)			Ш			
	ウ研	究の質の	の向上	につ	L なげるため	L の具体的方策		
		(7)			Ш			
P23		(1)		-	_			
	工研	究資金0	の獲得	及び	配分に関す	 する具体的方策	L	
		(7)			Ш			
		(1)			Ш			
P24		(ウ)			Ш			
		(I)			Ш			
		(才)			Ш	IV	1	受託研究・共同研究数の増加を評価する。
属病	院に関	する目標	票を達	成す	るための措	置		
(1)教	育及び	研修機能	能を充	実す	るための具	具体的方策		
P25	アー1	(7)			Ш			
		(1)			ш	п	1	連携についてはどの施設も悩んでいる。新しい連携モデルを構築
	アー2			_	_			国に提示できるレベルを目指してほしいので、あえてⅡにする。
	/ L イー1				Ш			
		(1)			Ш			
P26	1−2				ш	IV	1	院外研修の実施を評価する。
								透明性は大変重要である。次年度へ向けては、専門看護師や認
	イー3				Ш	IV	1	師の増員を図ること、多様な能力を育成できるシステムの構築を る。
	イー4				Ш			
	ウー1				Ш			
P27	ウー2				Ш			
	エー1	(7)	а		IV			
			b		Ш			
		(1)			Ш			
P28	エー2				Ш			
					ш			
	究を推	進するだ	こめの	具体				
	究を推 アー1	進するた	こめの	具体				
	1	進するた	こめの	具体	的方策	IV	1	がん診療連携の実施を評価する。
(2)研	1	進するた (ア)	こめの	具体	的方策	IV II	1 1	英文原著論文発表の推進に対する評価は、英文原著論文の発表
(2)研	アー1	進するた (ア) (イ)	こめの:	具体	的方策			英文原著論文発表の推進に対する評価は、英文原著論文の発表 その質で評価すべきである。
(2)研	アー1	進するた (ア) (イ)	さめの	具体	的方策 Ⅲ Ⅲ Ⅲ	П	1	英文原著論文発表の推進に対する評価は、英文原著論文の発表
(2)研	アー1	進するた (ア) (イ) (7) (イ)	<u>-</u> නග	具体	的方策 皿 皿 皿	П	1	英文原著論文発表の推進に対する評価は、英文原著論文の発表 その質で評価すべきである。
(2)研 P29	アー1 アー2 アー3	進するた (ア) (イ) (7) (イ)	こめの	具体	田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	П	1	英文原著論文発表の推進に対する評価は、英文原著論文の発表 その質で評価すべきである。
(2)研 P29	アー1 アー2 アー3	進するた (ア) (イ) (イ) (イ) (イ)	こめの	具体	的方策	П	1	英文原著論文発表の推進に対する評価は、英文原著論文の発表 その質で評価すべきである。
(2)研 P29	ア-1 ア-2 ア-3	進するた (ア) (イ) (イ) (イ) (イ)	こめの	具体	的方策	П	1	英文原著論文発表の推進に対する評価は、英文原著論文の発表 その質で評価すべきである。
(2)研 P29 P30	ア-1 ア-2 ア-3 イ-12 ウ	進するた (ア) (イ) (イ) (イ) (イ) (イ) (イ)			的方策	II IV	1 1 1	英文原著論文発表の推進に対する評価は、英文原著論文の発表 その質で評価すべきである。 治験件数の増加を評価する。
(2)研 P29 P30	ア-1 ア-2 ア-3 イ-12 ウ	進するた (ア) (イ) (イ) (イ) (ア) (イ) (イ)			的方策	II IV	1 1 1	英文原著論文発表の推進に対する評価は、英文原著論文の発表 その質で評価すべきである。 治験件数の増加を評価する。
(2)研 P29 P30	ア-1 ア-2 ア-3 イ-1 ・ウ 域医療	進するた (ア) (イ) (イ) (イ) (ア) (イ) (イ)			的方策 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田	II IV	1 1 1	英文原著論文発表の推進に対する評価は、英文原著論文の発表 その質で評価すべきである。 治験件数の増加を評価する。
(2)研 P29 P30	ア-1 ア-2 ア-3 イ-1 ・ウ 域医療	進するた (ア) (イ) (イ) (ア) (イ) (イ) (イ) (イ)			的方策 Ⅲ Ⅲ Ⅲ Ⅲ Ⅲ Ⅲ Ⅲ Ⅲ Ⅲ Ⅲ Ⅲ Ⅲ Ⅲ Ⅲ Ⅲ Ⅲ Ⅲ Ⅲ Ⅲ	II IV	1 1 1	英文原著論文発表の推進に対する評価は、英文原著論文の発表 その質で評価すべきである。 治験件数の増加を評価する。
(2)研 P29 P30	ア-1 ア-2 ア-3 イ-1 ・ウ 域医療	進するた (ア) (イ) (イ) (イ) (イ) (イ) (イ) (イ)			的方策 エ エ エ エ エ エ エ エ エ エ エ エ エ エ エ エ エ エ	II IV	1 1 1	英文原著論文発表の推進に対する評価は、英文原著論文の発表 その質で評価すべきである。 治験件数の増加を評価する。
(2)研 P29 P30	ア-1 ア-2 ア-3 イ-1 ・ウ 域医療	進するた (ア) (イ) (イ) (ア) (イ) (イ) (イ) (イ) (ウ) (エ)			的方策	II IV	1 1 1	英文原著論文発表の推進に対する評価は、英文原著論文の発表 その質で評価すべきである。 治験件数の増加を評価する。
(2)研 P29 P30	ア-1 ア-2 ア-3 イ-1 ウ 域医療	進するた (ア) (イ) (イ) (イ) (ア) (イ) (ア) (イ) (ア) (イ) (イ) (ア) (イ) (ロ) (ロ) (ロ) (ロ) (ロ) (ロ)			的方策 Ⅲ Ⅲ Ⅲ Ⅲ Ⅲ Ⅲ Ⅲ Ⅲ Ⅲ Ⅲ Ⅲ Ⅲ Ⅲ Ⅲ Ⅲ Ⅲ Ⅲ Ⅲ Ⅲ	II IV	1 1 1	英文原著論文発表の推進に対する評価は、英文原著論文の発表 その質で評価すべきである。 治験件数の増加を評価する。
(2)研 P29 P30	ア-1 ア-2 ア-3 イ-1 イ-2 ウ ア-1	進するた (ア) (イ) (イ) (イ) (イ) (イ) (イ) (イ) (イ) (イ) (イ			的方策 III III III III III III III	II IV	1 1 1	英文原著論文発表の推進に対する評価は、英文原著論文の発表 その質で評価すべきである。 治験件数の増加を評価する。
(2)研 P29 P30	ア-1 ア-2 ア-3 イ-1 ウ 域医療 ア-1	進するた (ア) (イ) (イ) (イ) (イ) (イ) (イ) (イ) (イ) (イ) (イ			的方策	II IV	1 1 1	英文原著論文発表の推進に対する評価は、英文原著論文の発表 その質で評価すべきである。 治験件数の増加を評価する。
(2)研 P29 P30	ア-1 ア-2 ア-3 イ-1 ウ 域医療 ア-1	進するた (ア) (イ) (イ) (イ) (イ) (イ) (イ) (イ) (イ) (イ) (イ			的方策 Ⅲ Ⅲ Ⅲ Ⅲ Ⅲ Ⅲ Ⅲ Ⅲ Ⅲ Ⅲ Ⅲ Ⅲ Ⅲ Ⅲ Ⅲ Ⅲ Ⅲ Ⅲ Ⅲ	II IV	1 1 1	英文原著論文発表の推進に対する評価は、英文原著論文の発表 その質で評価すべきである。 治験件数の増加を評価する。
(2)研 P29 P30	ア-1 ア-2 ア-3 イ-1 イ-2 ウ マ-1 イー1 イー2	進するた (ア) (イ) (イ) (イ) (イ) (イ) (イ) (イ) (イ) (イ) (イ			の方策	II IV	1 1 1	英文原著論文発表の推進に対する評価は、英文原著論文の発表 その質で評価すべきである。 治験件数の増加を評価する。
P29 P30 (3)地 P31	ア-1 ア-2 ア-3 イ-1 付 域医療 ア-1 イ-1 イ-2 イ-1	進するた (ア) (イ) (イ) (ア) (イ) (イ) (イ) (イ) (ウ) (エ) (ア) (イ)			の方策	II IV	1 1 1	英文原著論文発表の推進に対する評価は、英文原著論文の発表 その質で評価すべきである。 治験件数の増加を評価する。
P29 P30 (3)地 P31	ア-1 ア-2 ア-3 イ-1 ウ 域医療 ア-1 イ-2 イ-1 イ-2	進するた (ア) (イ) (イ) (ア) (イ) (イ) (イ) (イ) (ウ) (エ) (ア) (イ)			の方策	II IV	1 1 1	英文原著論文発表の推進に対する評価は、英文原著論文の発表 その質で評価すべきである。 治験件数の増加を評価する。
P29 P30 (3)地 P31	ア-1 ア-2 ア-3 イ-1 ウ 域医療 ア-1 イ-2 イ-1 イ-2	 進するた (ア) (イ) (ア) (イ) (ア) (イ) (ア) (イ) (ウ) (エ) (ア) (イ) (イ) (ア) (イ) (イ) (ア) (ア)<td></td><td></td><td>の方策</td><td>II IV</td><td>1 1 1</td><td>英文原著論文発表の推進に対する評価は、英文原著論文の発表 その質で評価すべきである。 治験件数の増加を評価する。</td>			の方策	II IV	1 1 1	英文原著論文発表の推進に対する評価は、英文原著論文の発表 その質で評価すべきである。 治験件数の増加を評価する。
P29 P30 P31	ア-1 ア-2 ア-3 イ-1 ウ 域医療 ア-1 イ-2 イ-1 イ-2	 進するた (ア) (イ) (イ) (ア) (イ) (ア) (イ) (イ) (ウ) (エ) (ア) (イ) (イ) (ー) (ア) (イ) (イ) (ウ) (ロ) (ロ)<td></td><td></td><td>的方策</td><td>IV IV</td><td>1 1 1 本的方策</td><td>英文原著論文発表の推進に対する評価は、英文原著論文の発表での質で評価すべきである。 治験件数の増加を評価する。 安全確保のための管理体制確立に向けての努力を評価する。</td>			的方策	IV IV	1 1 1 本的方策	英文原著論文発表の推進に対する評価は、英文原著論文の発表での質で評価すべきである。 治験件数の増加を評価する。 安全確保のための管理体制確立に向けての努力を評価する。

P34		(1)			Ш	IV	1	産学協同はとても良い。さらに拡大し、教員が行った成果についても 会等で発表してほしい。
	ウー1	(7)			Ш	IV. IV	2	○ドクターへりの活用を評価する。 ○ドクターへりの活用と地域医療への貢献を高く評価する。
		(1)			IV			
l	ウー2				IV			
l	ウー3				Ш			
	ウー4	-			_			
(4)医	唐安全	·体制の:	充実に	関す	る具体的力	 5 策		
P35	P		707(1-	-12,17	Ш	3 XK		
	1	(7)	а		Ш			
l		(7)						リスクマネージャーを病院長指名としている点が評価できる。リスクマ
l			b		Ш	IV	1	ジメントを病院全体に浸透させ、さらに発展させてほしい。
P36		(1)			Ш			
	ウ	-			_			
l	エ	(7)			Ш			
l		(1)			Ш	IV	1	職員全員が医療安全について学ぶことが大切なので、E-learningを引し受講しやすい環境を整えていることは評価できる。
(5)病		に関する	ム旦休	的方	第			し文語してすい、東境を整えていることは計画できる。
	アー1		J > C T -		ш	IV	1	診断書発行までの更なる時間短縮を評価する。
57	, ,				Ш	14	•	の問言元刊またの文本の時間及相と計画する。
	7 0	(1)						
	アー2				Ш			学生の受け入れは高く評価できる。可能ならば、授業の一環として、
	アー3	(7)			Ш	IV	1	字生の受け入れは高く評価できる。可能ならは、授業の一環として、 数化をしてほしい。
P38		(1)			Ш			
l	イー1	-			-			
l	√ −2	-			_			
	イー3				Ш	IV. IV	2	○7対1看護体制の導入を高く評価する。 ○看護師が少ない状況で、7対1看護体制を認可されたこと、および維持しようとしていることは評価できる。チーム医療推進のため、業別理などにも着手してほしい。
	イー 4				Ш			
P39	イー5	(7)			Ш	IV	1	7対1看護体制を導入したにも関わらず増収があったことは評価でき 地域との連携についてはさらに推進していってほしい。
		(1)			Ш			
		(ウ)			Ш			
		(I)			Ш	IV, IV	2	○病床稼働率の大幅な改善を高く評価する。 ○病床稼働率としてはまだ低いが、22年度からの大幅アップは評価 る。
(6)附	属病院	本院と同	司紀北	分院	の役割分割	旦及び連携強化	を達成するた	・ とめの具体的方策
	ア				Ш			
P40		_			_			
		する日本	票を達	成す	るための指	古置		
(1)-1	ア				Ш	IV	1	地域医療支援センター設置を評価する。
					Ш			
ļ	1				_			
	イ ウ				Ш			
(1)-2	イ ウ ア				ш	IV, IV	2	〇ドクターへりの活用を評価する。 〇ドクターへりの活用を評価する。 〇ドクターへりの活用と地域医療への貢献を高く評価する。
(1)-2	ゥ					IV. IV	2	
	ウ ア				Ш	IV , IV	2	
	ウ ア				II IV	IV, IV	2	
(1)-3	ウ ア				II IV	IV. IV	2	
(1)-3	ウ ア				IV IV			OドクターへJの活用と地域医療への貢献を高く評価する。
(1)-3 (1)-4 (1)-5	ウ ア				II IV IV III III			OドクターへJの活用と地域医療への貢献を高く評価する。
(1)-3 (1)-4 (1)-5 (2)-1	ウ ア				II IV IV III III III III III III III II	IV	1	OドクターへJの活用と地域医療への貢献を高く評価する。 がん診療連携の実施を評価する。
(1)-3 (1)-4 (1)-5 (2)-1 (2)-2 (3)	ウ ア				II IV IV II II II II II II	IV	1	○ドクターへJの活用と地域医療への貢献を高く評価する。 がん診療連携の実施を評価する。
(1)-3 (1)-4 (1)-5 (2)-1 (2)-2	ウ ア				II IV IV III III III III III III III II	IV	1	○ドクターへリの活用と地域医療への貢献を高く評価する。 がん診療連携の実施を評価する。 受託研究・共同研究の増加を評価する。 ○出前授業の実施を評価する。
(1)-3 (1)-4 (1)-5 (2)-1 (2)-2 (3) (4)-1	ウ ア				II	IV IV	1	○ドクターへJの活用と地域医療への貢献を高く評価する。 がん診療連携の実施を評価する。 受託研究・共同研究の増加を評価する。
(1)-3 (1)-4 (1)-5 (2)-1 (2)-2 (3) (4)-1 (4)-2	ウ ア				II	IV IV	1	○ドクターへリの活用と地域医療への貢献を高く評価する。 がん診療連携の実施を評価する。 受託研究・共同研究の増加を評価する。 ○出前授業の実施を評価する。

	外部研						関する目標を達	成するための	告置
									UH PR
	74-1-			AHt	当たさ	E放するたと	めの措置		
	(2)		¥,_== '-	7 🗆 '		-	+ O.# ==		
P49		_				_			
		刈平10	一日理化に	- 対 9 を	日標	を達成するた	αJVJ扫追		
4 =	(2)-2	******	ATP #. /-	· 88 - 1- 7		Ⅲ * `* # + 7 +	サの供 署		
	(2)-1								
	(1)-6					Ш			
	(4) 2	ウ				Ш			
		イ <u>・</u>				Ш			
P48	(1)-5	ア				Ш —			
	(1)-4	-				_			
	(1)-3	-				_			
	(1)-2	-				_			
	(1)-1	-				_			
3 ,	I	適正化	どに関する	る目標	を達	成するため	の措置		
	(2)			.		-	- 111		
P47						Ш	I	1	目の趣旨と全く関係がない。
	1	光組 綱	吸り見直	しに関	19-6		はするための措		「紀北分院の経営改善の検討」は、教育研究の活性化という中期計画
•	(2)-2	m 45 **	* 0 = -	L 1- P*	<u> </u>		P-1-7.5 14 - 1111		
	(2)-1					Ш —			
	(1)-6					Ш			
	(1)-5	-				-			
	(1)-4	-				_			
P46		イ				Ш			
	(1)-3	ア				Ш	П	1	連営を進めたことにならない。全学レベルの戦略を示す必要がある。
	(1)-2	-				-			「概ね順調に進んでいる」とすべきであると考える。 国立大学法人平成22年度評価で定員未充足の13大学に対する評元 果を参考とした。 紀北分院の経営改善に関する「検討」を行っただけでは、戦略的なス
P45	(1)-1	-				-			「1」 運営体制の改善に関する目標を達成するための措置」について 年度度計画の記載事項すべてが「年度計画を十分に実施している」 められる場合においても、大学院博士課程において学生収容定員の 足率が90 %を満たさなかったことを総合的に勘案し、この項目の評!
1 j	軍営体	制の改	対善に関	する目	標を	達成するだ	−めの措置		
業	務運営	の改善	善及び効	率化	こ関	する目標を	達成するための)措置	
	(5)					_			
	(4)					Ш			
	(3)					Ш			
P44	(2)					Ш			
		流に関	する目れ	票を達	成す	るための指	置		
	(4)	<u></u>				II			
	(3)					Ш			
	(2)					Ш			
						Ш			

	(3)	_				_			
	(4)					Ш			
P51		ア				Ш			
,	(5)	/				ш	IV , IV	2	○病床稼働率の大幅な改善を高く評価する。 ○病床稼働率としてはまだ低いが、22年度からの大幅アップは評価できる。
2 糸	怪費の	抑制に	関する	目標を	達成	 するためσ	·)措置		
	(1)	ア				ш	п	1	中期計画は「管理的経費の年間1%削減を目指す」であるが、平成23年月の一般管理費は対前年比1.42,過去5年間平均比1.12であり、目標から相当の差がある。
		1				Ш			
P52	(2)					IV	評価はそのまま		医療材料費の削減の努力を高く評価する。
	(3)	-				_			
	(4)					Ш			
3 👔	資産の	運用管	理の改	善に阝	目する	目標を達成	成するための措	置	
	(1)					Ш			
5 教	育及び	研究的	位びに組	織及(び運営	営の状況に	ついて自ら行う	点検及び評価	・ 並びに当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成する
めの指 1 =		充宝/-	- 関オスリ	ヨ煙ケ	凌战	するためσ)		
		ルチト	- (利 y る)	コ保で	连队	.9 6/E000.	7日但		
P53						_			
	(2)	_							
	(3)					Ш			
	(4)					Ш			
0 #	(5) = ±0.00	- 88 <i>5</i> 5 <i>a</i>	\#\#\-	88 - 1- 7	+#	- 5 <i>t</i> ' * c' + 3	7 + 4 の世界		
DE		用寺()	/推進に	関りる	日付	ı	るための措置 		Pro the state of 2007 1 − 1 1 1 2 2 7 7 2 ± 7
4	(1)-1					Ш	IV	1	病院広報誌の発行について評価する。
	(1)-2					Ш			
	(1)-3					Ш			
0.7	(2)	マケッテン	¥1-88-	7 = 3		T	7.1.4.0.44.52		
							るための措置	1 O 1# EE	
		1	の登備	•活用	寺に	関する目標	お羊がするため	りの措直	
P55	(1)-1	ア				_			
						Ш	(2,2,7,0,7,0,7,0,7,0,7,0,7,0,7,0,7,0,7,0,		
1 1		1				Ш	(C.Z.), 01C		
	(1)-2	イ -				ш —			
	(1)-3	1 -				Ш — Ш			
	(1)-3 (1)-4	- -				ш — ш —			
P56	(1)-3 (1)-4 (2)	-	3-1-7 5			ш - ш -			
P56	(1)-3 (1)-4 (2) 安全管:	-	する目は	票を達	成す	田ーー田田			
P56	(1)-3 (1)-4 (2) 安全管:	-	引する目本	票を達	成す	田 一 田 一 エ るための指 田			
P56	(1)-3 (1)-4 (2) 安全管: (1)-1 (1)-2	-	引する目れ	票を達	長成す	田 一 田 一 田 るための指 田			
P56	(1)-3 (1)-4 (2) 安全管: (1)-1 (1)-2 (1)-3	- 理に関	引する目れ	票を達	長成す	田 一 田 つ エ るための指 田			
P56	(1)-3 (1)-4 (2) 安全管: (1)-1 (1)-2 (1)-3	- 理に関	引する目本	票を達	上版す	田 一 田 るための指 田 田			
P56 2 3	(1)-3 (1)-4 (2) 安全管: (1)-1 (1)-2 (1)-3 (2)	- 理に関 ア イ				田 一 田 つ るための指 田 田 田	· 古置		
P56 2 3	(1)-3 (1)-4 (2) 安全管: (1)-1 (1)-2 (1)-3 (2)	- 理に関 ア イ				田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田			
P56 2 3 3 ±	(1)-3 (1)-4 (2) 安全管: (1)-1 (1)-2 (1)-3 (2)	- 理に関 ア イ				田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	· 古置		
P56 2 3 3 ±	(1)-3 (1)-4 (2) 安全管: (1)-1 (1)-2 (1)-3 (2) 基本的: (1)	- 理に関 ア イ 人権の				コースを対している。	計置		
P56 2 3 3 ±	(1)-3 (1)-4 (2) 安全管: (1)-1 (1)-2 (1)-3 (2)	- - 理に関 ア イ 人権の				田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	· 古置	1	患者の人権相談についての実施状況の記載がない。
P56 2 3 3 ±	(1)-3 (1)-4 (2) 安全管: (1)-1 (1)-2 (1)-3 (2) 基本的: (1)	- 理に関 ア イ 人権の				コースを対している。	計置		患者の人権相談についての実施状況の記載がない。 ○医療相談件数の大幅な増加を高く評価する。 ○患者の人権相談についての実施状況の記載がない。
P56 2 3 3 ±	(1)-3 (1)-4 (2) 安全管: (1)-1 (1)-2 (1)-3 (2) 基本的 (1) (2)	- - 理に関 ア イ 人権の				田 一 田 るための指 田 田 田 田 田 田 田	計置 るための措置 II	1	○医療相談件数の大幅な増加を高く評価する。
P56 2 3 2 3	(1)-3 (1)-4 (2) 安全管: (1)-1 (1)-2 (1)-3 (2) 基本的 (1) (2)	- - 理に関 ア イ 人権の				田 一 田 るための指 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田	計置 るための措置 II	1	○医療相談件数の大幅な増加を高く評価する。